



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 岩崎通信機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6704 URL <https://www.iwatsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 彰吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 時田 英典 TEL 03-5370-5111
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	16,275	1.5	△928	—	△858	—	△854	—
2022年3月期第3四半期	16,030	13.3	△326	—	△230	—	△135	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △724百万円（-％） 2022年3月期第3四半期 △23百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△85.83	—
2022年3月期第3四半期	△13.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	35,167	24,409	69.4
2022年3月期	36,441	25,359	69.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 24,409百万円 2022年3月期 25,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△0.8	△990	—	△880	—	△880	—	△88.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2023年2月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	10,080,344株	2022年3月期	10,080,344株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	111,474株	2022年3月期	141,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	9,955,012株	2022年3月期3Q	9,932,733株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の状況	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
継続企業の前提に関する注記	7
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
セグメント情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、ウィズコロナの下で、感染抑制と社会経済活動の両立に向けた各種政策の効果もあり、緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、ロシア・ウクライナ情勢に起因したサプライチェーンの混乱に伴う産業用部品入手難の継続、エネルギー価格高騰に伴う原材料費や諸物価の上昇、世界的な金融引き締めに伴う景気の下振れリスクや為替相場への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループでは中期経営計画「REBORN」の基本方針に則り、徹底した固定費削減と成長戦略の促進を実現するための抜本的な経営改革を推進しております。これらの具体的な取組として、2022年10月に印刷事業における生産と販売の集約によるオペレーションコストの削減を果たすとともに、印刷事業で培った化学技術を基軸とする機能材料の開発により事業領域の拡大と成長を図ることを目的として、岩通ケミカルクロス株式会社を設立しました。また、同年12月には「サブスクリプション・ビジネスの強化」の実現に向け、自社コミュニケーションプラットフォームによるクラウドサービスを展開するため、株式会社ネクストジェンと資本業務提携いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は16,275百万円（前年同期比1.5%増）、営業損失は928百万円（前年同期は326百万円の営業損失）、経常損失は858百万円（前年同期は230百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は854百万円（前年同期は135百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりです。

(情報通信事業)

情報通信事業においては、主に生産子会社における受託生産の売上収益が部品入手難のため減少しましたが、コンタクトセンタソリューションの売上収益がオンプレミス型のシステム販売からクラウドサービスの提供への移行が一部で進み、収入が増加したことにより、事業全体の売上収益は12,636百万円（前年同期比0.0%増）、セグメント損益は主に原材料調達コストの上昇や部品入手難に備えた先行手配で棚卸資産評価損が増加したことにより、488百万円の利益（前年同期比40.6%減）となりました。

(印刷システム事業)

印刷システム事業においては、主に国内消耗品の売上収益が前期末の価格改定前の駆け込み需要の反動で減少したことにより、事業全体の売上収益は1,097百万円（前年同期比5.0%減）、セグメント損益は主に事業再編に伴い棚卸資産廃却及び評価損が増加したことにより、194百万円の損失（前年同期は117百万円の損失）となりました。

(電子計測事業)

電子計測事業においては、主に電子部品の受注が世界的な部品入手難の影響で増加したことにより、事業全体の売上収益は2,135百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント損益は主に電子計測事業で部品入手難に備えた先行手配で棚卸資産評価損が増加したことにより、35百万円の損失（前年同期は21百万円の損失）となりました。

(不動産事業)

不動産事業においては、賃貸用不動産の入居率の上昇に伴い収入が増加したことにより、事業全体の売上収益は405百万円（前年同期比21.8%増）、セグメント損益は主に売上収益の増加に伴い、112百万円の利益（前年同期比73.4%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました通期の業績予想を変更しています。詳細につきましては、本日（2023年2月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,927	5,208
受取手形	514	558
電子記録債権	578	607
売掛金	4,555	2,967
商品及び製品	1,732	1,967
仕掛品	725	1,253
原材料及び貯蔵品	3,044	3,584
その他	154	329
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,232	16,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,377	5,198
土地	10,032	10,042
その他(純額)	1,193	1,128
有形固定資産合計	16,603	16,369
無形固定資産		
ソフトウェア	911	611
その他	45	45
無形固定資産合計	956	657
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149	1,323
その他	533	376
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	1,648	1,666
固定資産合計	19,208	18,692
資産合計	36,441	35,167

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,764	1,655
短期借入金	75	120
賞与引当金	520	271
製品保証引当金	65	77
その他	1,849	1,628
流動負債合計	4,275	3,753
固定負債		
繰延税金負債	3,226	3,257
株式給付引当金	56	39
退職給付に係る負債	2,966	3,106
その他	557	599
固定負債合計	6,805	7,004
負債合計	11,081	10,757
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,025	6,025
資本剰余金	6,948	6,948
利益剰余金	11,977	10,874
自己株式	△135	△112
株主資本合計	24,815	23,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304	427
為替換算調整勘定	0	113
退職給付に係る調整累計額	239	133
その他の包括利益累計額合計	544	674
純資産合計	25,359	24,409
負債純資産合計	36,441	35,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	16,030	16,275
売上原価	10,751	11,505
売上総利益	5,278	4,769
販売費及び一般管理費	5,605	5,697
営業損失(△)	△326	△928
営業外収益		
受取利息	3	16
受取配当金	41	48
受取地代家賃	27	27
その他	42	37
営業外収益合計	115	130
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	5	42
その他	12	16
営業外費用合計	19	60
経常損失(△)	△230	△858
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3
補助金収入	86	14
特別利益合計	86	17
税金等調整前四半期純損失(△)	△143	△840
法人税、住民税及び事業税	30	27
法人税等調整額	△38	△13
法人税等合計	△7	14
四半期純損失(△)	△135	△854
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△135	△854

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△135	△854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	122
為替換算調整勘定	47	113
退職給付に係る調整額	46	△106
その他の包括利益合計	112	129
四半期包括利益	△23	△724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23	△724

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上収益						
外部顧客への売上高	12,634	1,155	1,908	332	—	16,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,634	1,155	1,908	332	—	16,030
セグメント利益又は損 失(△)	821	△117	△21	64	△1,073	△326

(注) 1. セグメント損益の調整額△1,073百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,073百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上収益						
外部顧客への売上高	12,636	1,097	2,135	405	—	16,275
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,636	1,097	2,135	405	—	16,275
セグメント利益又は損 失(△)	488	△194	△35	112	△1,298	△928

(注) 1. セグメント損益の調整額△1,298百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,298百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。